

おおたけ市議会だより

OTAKE CITY

2023
(令和5年)

2

No.212

◆決算特別委員会	2 ページ
◆第6回定例会	5 ページ
◆一般質問	7 ページ
◆審議結果表	10 ページ
◆特別委員会	11 ページ

◆陳情	12 ページ
◆議会日誌	13 ページ
◆先進地事例調査研究報告 / 3月議会日程	14 ページ
◆議会報告会のご案内	15 ページ
◆スマイルインタビュー / あとがき	16 ページ



議会だより
読者アンケート

おおたけ市議会だよりの感想をお待ちしております。
※QRコードを読み取り回答してください。

決算特別委員会

……令和3年度決算を審査……

山崎委員長他7名の委員で構成する決算特別委員会において、10月11日～12日、慎重に審査した結果、可決すべきものと決しました。その後本会議での採決の結果原案の通り認定。

……決算特別委員……

委員長：山崎 年一 副委員長：藤川 和弘

委員：賀屋 幸治・末広 天佑・小中真樹雄・小田上尚典・和田 芳弘・寺岡 公章

委員会における質疑及び答弁の一部

ぎょうせいじょうほう

行政情報デジタルモニター設置事業

せっち じぎょう

195万円

Q どのような利便性の向上ができたのか。
また、企業の広告もあるが、今後どう活用していくのか伺う。

A デジタルモニター設置以前は、行事予定は玄関に手書きのプレートをその都度取りつけていた。また、行政情報は、本庁舎内のあちこちに各課がランダムに掲示していたが、デジタルモニター設置後は、各課からの行事予定やお知らせしたい情報は、デジタルモニターに掲示できるようになった。

また、デジタルモニターの設置に合わせ、庁舎内のポスターなどを掲示する場所を各階に1カ所に集約したため、来庁された市民にとっても、非常に見やすくなったと感じている。運用費の大部分は広告収入なので、今後、広告収入の範囲内で有効な情報を選び、分かりやすい情報提供に努めていきたい。



ちいきふ ほうとう きたいさく じぎょう

地域不法投棄対策事業

789万円

Q 地域不法投棄対策事業について、事業の結果どれだけ不法投棄が減少しているかなど、事業効果をどのようにとらえているか伺う。

A 令和3年度の不法投棄の状況は、令和2年度と比較し増加しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前の令和元年度と比較すると、減少している。大型投棄物は減少傾向であるが、ポイ捨てが増加している状況であり、今後ものぼりや看板設置による啓発活動のほか、監視カメラの設置など、関係機関と協力しながら、不法投棄を防止していきたい。

じったい ちょうさ じぎょう
プレジャーボート実態調査事業 78万円

Q 実態調査業務のこれまでの進捗状況及び今後の動向について伺う。



A 平成30年に広島県が放置艇解消のための基本方針を策定したことに基づき、本市が管理する玖波漁港及び阿多田漁港の放置艇対策のため、小型船舶用泊地を、すでに指定しており、順調に進めている。しかし、県内の港湾及び漁港の一部では、各関係者との協議が難航しており、小型船舶用泊地の指定ができていない港湾、漁港もあることから、広島県が管理する港湾、漁港において使用料の徴収開始年度を当初、令和5年度としていたが、令和7年度に延期されたため、本市も同様に延期したいと考えている。なお、作成した玖波漁港、阿多田漁港に係る小型船舶用泊地及び禁止区域図をホームページに掲載している。また、阿多田漁港には、現在、プレジャーボートは、係留されていないが、今後の対策については、漁業関係者と協議しながら進めていきたい。

だいき ぼもり ど そうせい ち あんぜん たいさく じぎょう
大規模盛土造成地安全対策事業 350万円

Q 調査場所及び、調査方法を伺う。

A 大規模盛土造成地とは、宅地を造成する目的で谷を埋める盛土の面積が3,000平方メートル以上の盛土造成地、また、盛土を行う前の地盤面の水平面に対する角度が20度以上で、かつ盛土の高さが5メートル以上の盛土造成地が対象である。

広島県が一次スクリーニングを行い、17カ所を対象として挙げている。この中で更に優先度の高い11カ所のうち、本格的なボーリング調査や深いところの地質や水位、また、擁壁等の劣化調査等を行う二次スクリーニングをどこから行うべきかの調査業務を昨年度実施した。

優先して調査を行う箇所として、御園地区、三ツ石地区の2カ所を選定している。残りの9カ所については、現在、経過観察としている。

ほう か ご じ どう うん えい じぎょう
放課後児童クラブ運営事業 6224万円

Q 令和3年度の状況と委託による新しい取り組みについて伺う。

A 令和3年度から民間委託にして、運営面で、継続的かつ迅速な人材の確保、運営体制が強化されている。また、利用者の面で、利用時間が、従来は18時までだったが、現在は、18時30分まで延長している。そして、夏休み期間中のお昼のお弁当の斡旋など、利便性の向上、魅力的な教室の開催などがあると考えている。具体的に、民間企業のネットワークで体制が整備されており、求人サイトなどを活用しながら、支援員の必要人数は十分に確保している。

また、市との連絡調整の窓口についても、エリアリーダーが担っており、随時報告、連絡を受けるなど、綿密に連携を取りながら児童クラブの運営に携わっている。

そのほか魅力的な教室については、民間ならではの特色のあるプログラムが導入されている。

民間委託後の児童クラブについては、運営面や利用者の観点からも、また、活動の内容からも充実が図られていると考えている。

のう ぜい き ふ きん
ふるさと納税寄附金 6億3000万円

Q 新商品や新しい取り組みについて伺う。

A 大竹市の主要な返礼品として、市内企業が製造する材料を使用したゴルフ関連用品があり、ゴルフクラブについて新たなメーカーと交渉を続けたところ、話がまとまり、取り扱うことになる予定である。

また、今年度から、中小事業者に対して商品の開発・改良について補助する事業を開始している。この事業は、大竹市の魅力の発信と地域活性化を図ることを目的としており、特に商品の開発については、この補助金を活用していただき、大竹生まれ及びふるさと納税の返礼品になるような産品が生まれることを期待している。



さいがい はい き ぶつ しより けい かく かい てい じぎょう
災害廃棄物処理計画改定事業 611万円

Q 市の地域特性を踏まえた内容に見直したとあるが、具体的にはどのようなものか伺う。

A 大きく2点であり、1つは大規模災害発生時には、災害廃棄物が一度に多量に発生することが想定されることから、災害廃棄物を一時的に集積するための仮置き場を検討した。もう1つは、近年全国的に大雨による災害が多発していることもあり、計画改定にあたり、広島県の地理的特性から土砂災害等の風水害への対応を盛り込んだ内容となっている。

いっばん かい ご よ ほう じぎょう
一般介護予防事業 929万円

Q 新型コロナウイルス感染症の影響を伺う。

A いきいき百歳体操は令和2年度が24団体、令和3年度が25団体と、コロナ禍ということもあり、新規の団体の立上げが難しい状況であった。今年度は9月末現在で5グループが追加された。

次に、地域リハビリテーション活動支援事業は、新型コロナウイルスの流行のために、各グループにおいて活動を休止した期間も長く、開催数、延べ参加人数ともに減少している。

また、元気はつらつ教室については、令和3年度に96回の教室を開催する予定であったが、緊急事態宣言等での外出自粛や会場の使用制限があり、教室を中止していた期間があるため、委託料が前年度と比べて減少した。

第6回 定例会

総務文教委員会

主な審査内容

●大竹市学校給食費条例の
制定について

Q 学校給食費の公会計化に伴い、徴収システムの変更等があると思うが、保護者への説明について伺う。

A 保護者への説明については、学校給食費が令和5年度から公会計に移行することや、変更点等についてお知らせの手紙を作成し、学校を通じて配付する予定である。

また、新入学児童の保護者には入学説明会でお知らせしたいと考えている。さらに、市のホームページにも公会計化について掲載をして市民にも周知したいと考えている。



Q 学校給食費を公会計化する場合の保護者のメリットについて伺う。

A メリットは3つあると考える。
1つ目は、学校給食費の口座引き落としは、各学校が指定する金融機関に限られていた。公会計化することで、市の指定する複数の金融機関から選択ができ、保護者の利便性が向上する。

2つ目は、予算・決算・監査等の法令に基づく学校給食費の管理・運営をすることで、保護者から納入していただく学校給食費の取り扱いが明確になり、透明性が高まることで公平性が確保される。

3つ目は、現在の学校給食は、保護者から納付いただいた学校給食費で食材を購入している。公会計化することで、市の予算に食材購入費を計上して食材を購入することができ、計画に沿った安定的な献立を実施することができると考える。

●令和4年度大竹市一般会計
補正予算(第7号)

Q 繰越明許費補正の第8款土木費の、小方地区のまちづくり事業1,000万円の内容について伺う。

A JRと大竹市で小方新駅の設置の検討に必要な資料の作成のため、1,000万円の繰り越しを行う。

具体的には、1つ目に、地域住民や周辺企業への新駅利用の意向に係るアンケート。

2つ目に、新駅周辺地で想定されている広場や関連機能等の平面配置案の作成。

3つ目に、アンケートや平面配置案を基に算出する新駅利用者数の需要予測。

4つ目に、新駅設置や線路横断構造などに係る概算費用の算出。

5つ目に、新駅設置や関連整備にかかる事業全体の概略工程案の作成を考えている。

●令和4年度大竹市一般会計
補正予算(第8号)

Q 補正予算に計上した出産・子育て応援事業の対象人数について伺う。また、双子を出産した場合の支援額について伺う。

A 対象人数については、試算になるが、令和4年4月1日以降から制度開始前までに出産した方が対象の妊娠子育て応援給付金の10万円が132名、現在、妊娠中の

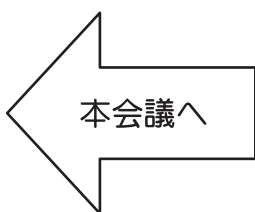
方やこれから妊娠届を出される方が対象の妊娠応援給付金の5万円が96名、合計228名を想定している。

また、双子を出産した場合は、妊娠応援給付金は1人分の5万円、出産後の子育て応援給付金は2人分の10万円となり、合計15万円となる。



●その他の議案9件

採決の結果、すべての議案が原案のとおり可決



本会議での採決の結果
原案のとおり可決

令和4年12月1日～12月15日の15日間行われました。
 詳細については、令和5年3月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページから録画中継もご覧いただけます。

生活環境委員会 主な審査内容

●大竹市穂仁原水辺の広場設置及び管理条例の制定について

Q 条例における管理範囲と管理者、また、周辺のコウゾ畑や水辺の管理について問う。

A 管理区域は、広場と駐車場合わせて約2,900平方メートルで、建物の修繕維持管理は市で行い、交流館の清掃等は、川手自治会連合会に依頼している。多目的広場の除草等は、委託することも考えている。コウゾ畑は条例の範疇には入っていないが、整備後は教育委員会が受け持つ。

市の伝統文化「手すき和紙」の継承は重要であり、「手すき和紙保存会」に託し、水辺の学校については、市と地域で管理を行う。



建設中の交流館

●大竹市市営住宅等の指定管理者の指定について

Q 市営住宅の指定管理者制度は導入されてから10年になるが、民間の管理会社のノウハウが、どのように生かされたと評価しているのか問う。

A 指定管理になっての成果としては、家賃等の収納徴収については、現年度分については99.8%から99.9%以上の高い水準を維持している。平成25年には未収納額が4,600万円であったが現在は約2,000万円となり約55%削減できた。維持修繕業務については、営業時間外は、コールセンターを設置して24時間受付で、迅速な対応ができるようになってくる。

入居者のサービス面でも単身高齢者世帯の見守りや、管理人タウンミーティングの実施、情報誌の発行といったことができている。

●大竹市松ケ原こども館の指定管理者の指定について

Q 松ケ原こども館の指定管理者と事業運営者が別の団体である理由を伺う。また、事故等の対応、

責任について取り決めはされているのか問う。



松ケ原こども館

A 松ケ原こども館を指定管理した当初は、NPO法人子育てハッピーネットほのぼのは法人格のない任意の団体であったため、指定管理者になる資格がなかった。そのため、松ケ原児童館の時代から関わっていた、松ケ原町自治会を指定管理者とした。

子育てハッピーネットほのぼのは、平成18年にNPO法人になったが、地元自治会と密着した運営を行うことに意義があると判断し、現在の状態を維持している。

なお、現在は、事故等のリスク分担を明示した契約となっていない。今後リスク区分表を作成することを検討したい。

●大竹市漁港管理条例の一部を改正する条例の一部改正について

Q 広島県が管理する港湾・漁港において放置艇解消のための対策期間の見直しを行い、小型船舶用泊地の使用料の徴収開始日を延期するものであるが、使用料の徴収対象となる小型船舶の把握状況を問う。

A プレジャーボートは79隻あり、そのうち75隻、率にして95%把握している。調査に当たっては小型船舶の登録番号で調べているが、所有者が不明のものがあり、現在、くば漁業協同組合と一緒に、隣接して船を泊められている方に聞き取り等の調査を進めている。

●その他の議案5件

採決の結果、すべての議案が原案のとおり可決



本会議での採決の結果
 原案のとおり可決



寺岡 公章

- 生涯学習課を社会教育課に戻しませんか

日域 究

- 成年後見制度に要注意
- 民生委員さんにも報酬を

原田 孝徳

- 第7波の影と今後への備え

末広 天佑

- 自治体システム標準化への対応について

小中 真樹雄

- 「拉致関連本」の充実依頼について問う

西村 一啓

- 小方地区まちづくり基本構想の今後の取組みについて
- 新大竹駅と周辺整備の連携について

生涯学習課を
社会教育課に戻しませんか



寺岡 公章

問 社会教育と生涯学習は、誤解され混同して扱われる場面が多くありますが、明らかに違うものを指しています。教えるものは誰か、学び習うのは誰か、主語からして異なります。この際、それぞれについてその目的や役割を整理し、より円滑な学社連携につなげましょう。

まずは過去に課名変更した意図を細解き、学習指導要領の把握具合、生涯学習の連続性、組織性、教育行政従事者としての認識について現状やお考えをうかがいます。

その上で、例えば生涯学習分野は係とし、社会教育課か自治振興課に置いてはどうか提案します。

有機的な学社連携についての考え方、学習の成果の確認方法についてもお答えください。

答 生涯学習課は、設置当時、国や県が積極的に生涯学習の基盤整備などを進めており、市民の生涯学習活動を支援する組織として設置したと考えられます。

今後は、生涯学習と社会教育の違いなどを考察し、どのような組織体制が望ましいかを議論していく余地があると考えています。

また、市民一人ひとりが、乳幼児期から始まり青年期、成人期、高齢期へと一貫性を持って継続的に学習していけるよう、学校や関係部局と連携しながら支援の場や機会を提供することが教育行政の役割であると認識していますが、生涯学習課職員の学習指導要領の把握など、実態として十分な状況とは言えないことから、より深く掘り下げた事業展開ができるよう取り組みます。



生涯学習課のある市総合市民会館



日域 究

成年後見制度に要注意

問 先月NHKクローズアップ現代で成年後見制度の落とし穴的な番組が流されました。大竹市社会福祉協議会でも司法書士さんの同種の講演会が開かれました。ともにテーマはこの制度の持つ問題点です。一方で成年後見制度利用促進法があつて、大竹市にも促進の役割が与えられています。

答 国が変なものを作つて地方が困るパターンですが、認知症でも後見人を使わずに施設と契約している実態もあり、単純に促進ではないと思います。市の対応をお尋ねします。

答 成年後見制度には、判断能力を失つても財産保護や生活支援がなされるなどの利点がある一方で、財産管理や報酬面で制約的な要素もあります。

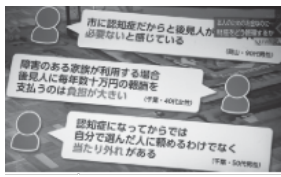
この制度に限らず、いくつかの選択肢から最善の制度を選択してもらえよう、市内事業所などと連携して相談しやすい支援体制を構築するとともに、分かりやすい制度の周知・啓発に努めます。

民生委員さんにも報酬を

問 介護保険開始で福祉はビジネスになりました。民生委員さんだけが無報酬で良いのですか。お考えを。

答 民生委員・児童委員は非常勤の公務員として、地域の皆様の立場に立ち、社会福祉活動の重要な役割を担っていただいています。しかしながら、法律に「給与を支給しない」との規定があり、市が独自に報酬を支給することは難しいと考えます。

地域活動を取り巻く環境の変化をふまえて、交通費や通信費などに充てる活動費や、活動そのものの負担軽減など、民生委員の意見も伺いながら研究・検討していきたいと考えています。



NHK クローズアップ現代より



原田 孝徳

第7波の影と
今後への備え

問 ①本市において、これまで一度でも「〇」に感染した人はトータルで何人か。②本市における第7波の感染状況や感染経路を分析し、どのような対策や対応をしてきたか、今後はどのような備えが必要か。③廿日市市と比べ、人口の割に本市の感染者数は多いと感じるが、数字の面ではどうか。④ワクチンを接種した人と未接種の人の重症化率の比較。⑤無症状の人の無料のPCR検査は、廿日市市まで行かなければ受けられないため、感染者数が実数かどうか疑問であるかどうか。そのために感染が広がっているというのではないか。⑥一部の介護施設では抗原検査キットの不足が問題になっているが、本市ではそのような問い合わせはないか。

以上6点について問います。

答 ①11月末までの新規報告者数累計は4,171人です。②個別の感染経路など非公表のため、詳細の分析はできませんが、県の公表によると、県内PCRセンターにおける陽性者の約6割は家庭内感染と推定され、約2割は感染経路不明という状況です。今後もワクチンの接種勧奨と基本的な感染防止対策の継続が重要と考えます。③11月1日現在の人口に占める9月から11月までの新規報告者数の割合を比較すると、大竹市のほうが少ない数値（廿日市市6・07%、大竹市5・65%）です。ただしこの割合は毎月変動するため、大竹市のほうが多い月もあります。④県の第7波データ分析によると、60歳以上で2回目・3回目を接種している場合、「ワクチン接種による効果は継続して示唆される」となっています。⑤両市の感染者数の割合に大きな差はなく、関連はないと考えます。⑥そのような問い合わせはありません。



集団接種会場(西医療)



PCR検査場(廿日市市)



末広 天佑

自治体システム
標準化への対応について

問 自治体ごとに異なる行政システムを2025年末までに統一することを政府が閣議決定しました。

そのことで始まった自治体システムの標準化（標準準拠システムへの移行）ですが、様々な課題を抱え、全国自治体には多大な負担がかかっていると報道されています。

事務の効率化やシステムの運用コストのダウンを目的としていますが各自治体が個別で抱える問題に対応できず、逆にコストや職員への負担が増えることも懸念されています。そのような状況の中で、大竹市ではどのような体制、計画で推進されているのかお伺いします。

答 現在、本市の主な標準化対象事務の現行システムは、県内6市町が共同で運用している広島県市町基幹業務クラウドサービスを導入していることから、標準準拠システムへの移行についても、国が目標に定めている令和7年度末までに移行できるよう6市町やシステム事業者と移行スケジュールについて調整を図っています。また、庁内においても関係課会議を開催するなど、作業を進める体制も整える予定です。

総務省が示す自治体DX重点取組項目



小中 真樹雄

「拉致関連本」の
充実依頼について問う

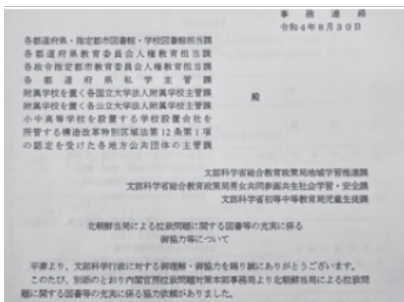
問 新聞報道によると、文部科学省は8月30日付で、内閣官房拉致対策本部からの要請を受け、公立図書館や学校図書館などで拉致問題に関する本の充実に協力するよう各都道府県教育委員会などに事務連絡したといまます。これに対し、公益社団法人「日本図書館協会」は「図書館の自由に関する宣言を脅かすものであると懸念する」との意見書を文部科学省に出したそうです。

そこで市教委にお尋ねします。この事務連絡にどんな見解を持ちどう対応されますか。さらに限られた図書購入費から、特定分野への経費投入は利用者としても疑問に思います。関連して市立図書館や学校図書館の年間の図書購入費の額や購入図書の選定方法についても教えてください。

答 国の見解どおり「単なるお願い」と解釈しており、既に通知内容について各学校図書担当者や市立図書館へ周知しています。この通知を受けて拉致問題を取り上げた図書の購入や展示などの企画予定はありません。

市立図書館の令和3年度購入額は約740万円です。選定方法は、図書館流通センター発行の新刊案内などを活用し、司書職員が選書しています。市民からリクエストのあった図書も一部購入しています。

学校図書館の令和3年度購入額は小学校で約150万円、中学校で約117万円です。選定方法は、その年の課題図書や既に購入しているシリーズ本の続編のほか、児童生徒からリクエストのあった本を図書担当の教諭が中心となり選書しています。



文部科学省8月30日付事務連絡



西村 一啓

小方地区まちづくり
基本構想の今後の
取り組みについて

問 旧小方小、中学校の跡地活用を中心に小方まちづくりの基本構想は今後どの様に取組んでいくのか、併せて小方新駅について伺う。

答 今後は、小方地区のまちづくり基本構想の核となる小方新駅の整備に道筋をつけることに注力していく必要があると考えています。基本構想の実現に向けて、優先順位を見極めながら段階的に取り組みを進めていきます。



おおたけPRキャラクター「コイちゃん」



岩国・大竹道路の建設状況

新大竹駅と周辺整備の
連携について

問 今後完成予定の新駅周辺の整備や東西通路を挟む油見西栄線の街路計画、駅前商店街の賑わいづくりへの取り組みについて伺う。

答 大竹駅周辺整備事業では、令和4年度末までには東西を結ぶ自由通路が開通し、駅の橋上化も完成する予定で、JR本線を挟む東西の市民の利便性が向上します。また、商店街の方には、商業活性化事業への補助制度を活用し、新しい駅前広場でのイベントなど、駅前商店街の盛り上がる仕組みを構築していただきたいと思います。

第6回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

議案など	賀屋幸治	末広天佑	藤川和弘	原田孝徳	小中真樹雄	中川智之	小田上尚典	北地範久	西村一啓	和田芳弘	網谷芳孝	児玉朋也	山崎年一	日域 究	細川雅子	寺岡公章	審議結果
認第5号 令和3年度大竹市一般会計決算	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認定
認第11号 令和3年度大竹市介護保険特別会計決算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認定
議案第50号 大竹市穂仁原水辺の広場設置及び管理条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第51号 大竹市給食費条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第56号 大竹市漁港管理条例の一部を改正する条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第63号 大竹市営住宅等の指定管理者の指定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第64号 令和4年度大竹市一般会計補正予算（第7号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第68号 令和4年度大竹市一般会計補正予算（第8号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

一：議長 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 棄：棄権

基地周辺対策特別委員会

令和4年12月7日開催
執行部からの主な報告内容

- 航空機騒音状況記録簿（令和4年8月～10月）
阿多田島住民のご協力をいただき、24件の騒音実態が記録されました。コメントを添えて防衛省へ提出するとともに、騒音対策への配慮と訓練等の情報提供をお願いしています。
- 阿多田島におけるデシベル値測定表（令和4年8月～10月）
阿多田島漁協の屋上に防衛省が設置している騒音自動測定器での測定結果です。90デシベル以上となった回数は、8月17回、9月22回、10月10回で3カ月の合計は49回でした。前年の同期の98回と比べてちょうど半分に減少しています、10月が最も少なく例年と違う傾向となっています。
- 岩国飛行場周辺の航空機騒音状況
防衛省が岩国航空基地の周辺市町25カ所に設置している騒音測定器から計測された値を、うるささ指数（Lden）に変換して集計しています。大竹市内には阿多田島漁協とサントピア大竹が測定地点です。月別のLdenの平均値で測定地点のうち居住区に該当するものを比較すると、8月までは阿多田島が最も高く、9月以降は由宇町が最も高い数値を示しています。
※ Ldenは昼間、夕方、夜間の時間帯に重み付けを行った1日の等価騒音レベルです。
- 11月10日に広島・島根の両県知事が防衛大臣に対し、要望を行ったと説明がありました。
内容としては、広島県や島根県における米軍機の訓練空域が中山間地域に位置し、低空飛行訓練が断続的に繰り返されることで、激しい騒音被害が生じており、周辺住民に与える影響は基地周辺と同様に大きいものとなっていることから、一部地域の住民に負担が生じている現状を改善するため、1番目に低空飛行訓練の中止に向けた措置の実施、2番目に騒音被害の実態把握の実施、3番目に住民負担を軽減するための措置の実施、以上の3項目（要約）

議会改革特別委員会（令和4年10月～12月）

主な協議内容

- 10月25日 ①議長主導のSNS発信
②委員会のテレビ・ネット中継
③自由討議の制度導入
④決算委員会等の意見を正式に議会提案
- 11月21日 議会中継（テレビ・ネット中継）において、予算決算委員会の取り扱いについて協議
- 12月7日 議会報告会「議員定数について」の読み原稿の確認、議会中継（テレビ・ネット中継）において、予算決算委員会の取り扱いについて協議

議員定数については9月議会において、16名の現状維持との結論を得ましたので、以降は主に現在実施している4つの取組の課題や今後の取組目標などを議題に協議しました。

特に議会中継（テレビ・ネット中継）については、委員会中継の拡充を図るため、各委員会にも協議していただき、調査・研究を進めています。

陳 情


<p>【陳情名】(継続審査分) 学校存続に向けた広島県立大竹高等学校支援の陳情</p> <p>【提出者名】 広島県立大竹高等学校同窓会 会長 清永 恵三</p> <p>広島県立大竹高等学校PTA 会長 林 未央</p>	<p>【要旨】</p> <p>本校は大竹市内唯一の県立高等学校であり、昨年度創立 100 周年を迎えた伝統校ですが、学区制の廃止や少子化等の影響もあって、近年では定員割れが続いており、生徒数の確保が困難な状況となっています。広島県教育委員会の「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」によれば 1 学年が 4～8 学級規模（全学年 12 学級～24 学級）が適正としており、全学年 11 学級の本校としてはまさに瀬戸際に位置しているといっても過言ではありません。今後も統廃合の対象校とならないように、より魅力的な高等学校となるべく、次の 3 点に焦点化して魅力的な学校づくりに努力しているところです。</p> <p>①「進路実現」への取組 ②「情報発信」への取組 ③「他行との差別化・魅力化」の取組</p> <p>しかしながら、このような夢の実現に必要な資金は広島県からの予算化や援助はできないものばかりです。その資金を集めるために、本校同窓会・PTA・生徒が一丸となって昨年度から継続して本校活性化のための募金活動を続けています。</p> <p>最近では、このような生徒・保護者・学校・同窓会が一丸となって取組んでいる姿勢に対して多くの大竹市民の皆様から、ご賛同のお声やお手紙をいただくようになりました。</p> <p>さらなる生徒たちの夢の実現と学校存続に向けた取組みへのご理解とご支援をお願い申し上げて、陳情とさせていただきます。</p> <p>1. 学校存続に向けた大竹高等学校の活性化・魅力化のために支援すること 校内塾、国際交流への教育支援、特色ある活動の支援 (年間支援額 300 万円)</p>	<p>【付託委員会】 総務文教委員会</p> <p>【委員会の結果】 不採択</p> <p>委員会での意見 大竹高等学校の市内在住の生徒は全体の 4 分の 1 であり、公平感を担保できない。また、大竹市が設置している学校ではない。学校が本当に存続の危機であるのなら、同窓会が一致結束して募金や寄附活動に励むべきと考えるため、不採択とすべき。</p> <p>大竹市の人口でも子どもが減っていく中で高等学校がなくなるのは、まちづくりにとってもよくないと考える。何らかの形で行政が協力する必要があるため、採択すべき。</p> <p>【本会議の結果】 不採択</p>
<p>【陳情名】 公共の場所に於けるボランティア清掃活動のいっそうの支援を求める陳情</p> <p>【提出者名】 豊川 和也</p>	<p>【要旨】</p> <p>大竹市では年に数回一斉清掃があり、地域の方々が朝早く清掃されております。公園などの公共の場所に落ちているごみや雑草、雑木は、地域の方々が自主的に除草、清掃作業をして処分されています。</p> <p>西東京市では、公共の場所を清掃する際、ボランティア袋、清掃用具の貸出、拾ったごみ、除草された草を無料で回収する取組を行っているそうです。大竹市においても、公共の場所にて清掃する際に個人でも団体でも申請すれば、ごみ袋の支給や無料でごみを回収する制度がありますが、個人の方の申請が少ないとのことでした。</p> <p>そこで、大竹市の現制度に西東京市の制度を取り入れることで、ボランティア作業がよりいっそう盛り上がることと思っておりますので、次の項目を陳情いたします。</p> <p>1. 公共の場所にて清掃する際の申請した際に無料でもらえるごみ袋に大竹市民の公募によるネームを付けること。 2. 清掃用具（ごみ拾い tong・ベスト・のぼり旗）を貸付してもらうこと。 3. 定期的に市広報、SNS 発信（ごみ袋ネーム公募、活動内容、事後報告等）のこと。</p> <p>本会議での討論 【不採択とすべき討論】 本市でもクリーンキャンペーン等で同様のことを実施しており、個人への清掃用具の貸与を SNS 発信で伝えていくことは必要との意見を付して、不採択とすべき。</p>	<p>【付託委員会】 生活環境委員会</p> <p>【委員会の結果】 不採択</p> <p>【本会議の結果】 不採択</p>

<p>【陳情名】 小瀬川堤防 (大竹市側：中市堰～ 栄橋)の早期改善を求 める陳情</p> <p>【提出者名】 木下 正紀 ほか4名</p>	<p>【要旨】 現在、地球温暖化が叫ばれ、自然災害は多発化・激甚化が進行しております。小瀬川による災害については、過去にも、ルース台風（昭和26年）をはじめとし、広島県側では多くの洪水被害が生じておりました。近年、気候変動の中、流域の地域住民は小瀬川からの洪水・高潮・津波被害への関心が高まり、防災への地域住民の意識が高まっているところであります。</p> <p>一方、小瀬川の中市堰～栄橋区間の堤防整備や堤防状況を見渡したところ、疑問に感じる状況がとて多くみられます。我々はそれらを「小瀬川堤防改善の要望」にまとめ、すみやかな小瀬川堤防の早期改善を求めるものです。</p> <p>現状の堤防では、小瀬川左岸に生活している大竹市側流域の地域住民は、洪水・高潮・津波等の被害が襲来してくるのではないかと不安が高まるばかりです。市民の安心・安全を図るため、大竹市側（中市堰～栄橋）堤防の早期改善を進め、大竹市側地域住民の生命・財産・生活を守る堤防整備を求めます。</p> <p>大竹市議会におかれましては、小瀬川堤防の現状を真摯に受け止め、大竹市流域住民の小瀬川堤防の早期改善の要望を国や県、関係機関に要望していくことを強く望みます。</p> <p>1. 小瀬川堤防（大竹市側：中市堰～栄橋）の早期改善を求めること。</p>	<p>【付託委員会】 生活環境委員会</p> <p>【委員会の結果】 採択</p> <p>【本会議の結果】 採択</p>
<p>本会議での討論 【採択とすべき討論】</p> <p>近年地球温暖化による集中豪雨の増加や、近い将来予測される大地震による洪水高潮津波被害等への備えが喫緊の課題となっている。小瀬川堤防の大竹市側の整備強化は市民の安心安全を守るためにも不可欠と考える。災害はいつやってくるかわからないため、市としても河川管理者である国土交通省へ早期整備を継続的に訴えていくことが最重要であるとして採択すべき。</p>		

<p>議会日誌</p> <p>11月8日 一般国道2号廿日市大竹道路整備促進 期成同盟会要望活動（東京都）</p> <p>8-9日 生活環境委員会先進地事例調査研究 （佐賀市、大木町）</p> <p>15日 議会改革特別委員会</p> <p>24日 議会運営委員会 広報広聴特別委員会</p> <p>12月1日 本会議</p> <p>5日 総務文教委員会</p> <p>6日 生活環境委員会 生活環境委員協議会 生活環境委員政策研究会</p> <p>7日 基地周辺対策特別委員会</p>	<p>令和4年11月 ～令和5年1月</p>	<p>7日 議会改革特別委員会</p> <p>12日 広報広聴特別委員会</p> <p>15日 本会議 議員全員協議会</p> <p>1月10日 広報広聴特別委員会</p> <p>16日 議会運営委員会 議会改革特別委員会</p> <p>18日 大竹市議会議員研修会</p> <p>20日 臨時会</p> <p>24日 広島県市議会議長会議員研修会 （江田島市）</p> <p>25-26日 石油基地防災対策都市議会協議会（高松市）</p> <p>31日 全国市議会議長会地方財政委員会 （東京都）</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

📺 本会議及び委員会の動画配信中

大竹市議会では本会議及び常任委員会の録画映像を動画で配信しています。
下記のQRコードを読み取っていただくと、動画配信サイト（YouTube）へ移行し
視聴できます。



YouTube
大竹市議会

🔍

/

先進地事例調査研究

生活環境委員会

委員長 日域 究

令和4年11月8、9日

佐賀県佐賀市

11月8日

【障害福祉計画・障害児福祉計画】

佐賀市の佐賀地区における地域生活支援拠点は、佐賀市・神埼市・吉野ヶ里町の2市1町が共同で平成29年からスタートしている。3市町の共同となったのは、他の事業でも協力することが多く、また佐賀市には障害者福祉の社会資源が多くあり、普段から他市町からの利用も多かったことから、スムーズに連携できた。



佐賀市での研修風景

拠点の整備にあたっては、一、緊急時、相談対応するコーディネーターの配置 二、緊急的な短期入所に対応できる体制整備 三、365日対応できる体制づくりの3つを整備した。

今後の課題として、人材の不足がある。コーディネーターの確保や、人材面での不足が理由で空床の輪番制も難しくなっている。令和5年度から、他の加算単価を大幅に上乘せし、事業所で協力体制が取れるようにする。また、医療的ケアが必要な障害者への対応もこれから。

福岡県大木町

11月9日

【循環センターくるるん】

大木町は土地の高低差が数メートルしかない佐賀平野の中の面積わずか18km²の自治体。平成の合併もしていない。「ミ処理は近隣自治体に委託し焼却処理し、公共下水はなく、尿処理は海洋投棄だった。

その海洋投棄が平成19年2月に禁止されることになり、大学の研究者の知恵を借りて作ったのがこの「くるるん」。生ゴミ・尿・浄化槽汚泥をまとめて発酵させバイオマス資源化するもの。出来た液肥は契約農家の農地に町自ら散布する。



循環センターくるるん視察の様子

し尿の海洋投棄から環境第一に一気に大転換し、生ゴミ収集も家庭用ポリバケツから、10軒程度の家庭が出す街角の大型バケツへ、それを町のトラックが回収する方式。農業のスタイルが米と麦の二毛作地帯なので、半年間分の生産した液肥を溜める大きなタンクがあり、作物の入れ替わり時期に一気に撒く。農家の負担は散布費用のみで肥料は無料。

また、その処理プラントがある場所が町の中心で、道の駅が隣接している。その中のレストランでわれわれ一行も昼食をとった。嫌われ者の廃棄物処理を町の中心に据え人気スポットになっている。この発想には脱帽です。

議会を

傍聴しませんが

市議会では、予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住民みよいまちづくりをめざして審議をしています。

本会議、委員会とも傍聴できませんので、議会がどのように運営されているのか傍聴してみませんか。



3月議会日程(予定)

本会議	2月27日(月)
常任委員会	2月27日(月)
//	3月1日(水)
特別委員会	3月2日(木)
本会議	3月7日(火)
// (予備日)	3月9日(木)
予算特別委員会	3月13日(月)
// (予備日)	3月15日(水)
// (予備日)	3月16日(木)
本会議	3月24日(金)

大竹市議会報告会のご案内

大竹市議会では、議員が地域にお伺いして議会活動を直接報告し、市民の皆さまとの意見交換を行う議会報告会を開催いたします。

今回の議会報告会では、議会からの報告と皆様との意見交換を3日間・9会場で行います。皆様が興味あるテーマの会場へお越しくださいましたら幸いです。

大竹市議会議長 賀屋 幸治

開催日時		会場	テーマ	班
2月4日 (土曜日)	14:00～15:30	栗谷小学校	栗谷小・中学校の跡地活用について	A
		安条集会所	人口推移及び高齢化対策について	C
	19:00～20:30	アゼリア おおたけ	新町ポンプ場進捗状況について	B
2月7日 (火曜日)	15:30～17:00	阿多田島 漁業協同組合	イノシシ対策について	A
	19:00～20:30	おがたピア	小方まちづくりについて	B
		松ヶ原集会所	耕作放棄地の利用促進と地域の活性化について	C
2月9日 (木曜日)	18:30～20:00	サントピア大竹	雨水対策について	A
	19:00～20:30	玖波公民館	玖波公民館の今後について	B
		総合市民会館	雨水対策について	C

○ 議員が3班に分かれ、各地域にお伺いいたします。

A 班	
班 長	中 川 智 之
副班長	山 崎 年 一
	未 広 天 佑
	和 田 芳 弘
	寺 岡 公 章

B 班	
班 長	児 玉 朋 也
副班長	小田上 尚 典
	藤 川 和 弘
	原 田 孝 徳
	西 村 一 啓

C 班	
班 長	小 中 真樹雄
副班長	細 川 雅 子
	北 地 範 久
	網 谷 芳 孝
	日 域 究

お問い合わせ

大竹市議会事務局

TEL (0827) 59-2183 FAX (0827) 57-7110





第39回 スマイル インタビュー



サークルを作られたきっかけなど教えてください。

ボランティアをしようと思いい、その中で人とコミュニケーションがとれる手話通訳を覚えたいと思い始めました。

主な活動を教えてください。

行事や講演会などの手話通訳、定期的に手話の勉強会や講習会などを行っています。障害のある方の行事にも参加して、一緒に楽しい時を過ごしたりしています。

講演会の依頼があった時は、事前に原稿をいただき確認しています。講演と同時に通訳するので、精神的にも肉体的にも大変な疲れがあります。15分から20分くらいで交代しながら行っています。



令和5年開催の二十歳のつどい



通訳で気を付けていることは、

手話が正しく伝わっているかが一番気になります。話を聞きながら行うので音が聴こえにくかったりすると大変苦労します。

活動を行ってきて印象に残っていることを教えてください。

1990年代に聴こえに障がいのある人が主人公の連続ドラマが放映されたことで、ブームが起き手話を習いたいという人がたくさん来られ、このサントピアの部屋がいっぱいになりましたが、今では転出されたり高齢化などで少なくなりました。もう一度あのブームが起きないかと思っています。

以前は手話が奇異な目で見られたりすることもありましたが、今ではメディアでもよく目にしますし、ネットで習うことが出来ます。

コロナ禍で苦労されていませんか。

大変です。行事が出来なくなつたのと、会場が使えなくなったことで会を運営することがむずかしくなりました。また、ろうの方は表情や口元を読み取ったりするので、マスクがあると伝わりにくいです。



長い間の活動で楽しかったことを紹介してください。

手話が必要とされている方や、一緒に勉強している方との交流はとても楽しいです。単に通訳をするというだけでなくその方に寄り添って何を必要とされているのか、どうしてほしいのかを考えながら行うことは大変ですがやりがいがあります。
「ありがとう」と言ってもらえた時は本当にやってよかったと思います。

あ
と
が
き

令和5年も2月となり、私たち議員の任期も半年余りとなりました。現状の人口減少・少子高齢化社会が続けば、益々の負担増や公共施設の削減など、厳しい決断を避けては通れません。民意の反映を使命とする議会が機能するためには、行政をチエックする一方で、市民に必要な政策を調査、研究、提案、実現する議会が求められています。

考え方の違う議員と互いの違いを乗り越え尊重しながら、対話と討議を重ね、歩み寄りながら、違いを埋め合い、合意形成を図り、市民にとっての解を導き出したいと議員一同模索し、日々研鑽しています。
「チーム議会」を求めて

山崎 年一

広報広聴特別委員

委員長
副委員長

- | | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 小田上 尚典 | 寺岡 弘章 | 藤川 智和 | 山中 智一 | 山崎 年一 | 日域 雅子 | 細川 雅子 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。



発行・令和5年2月1日 大竹市議会

広島県大竹市小方一丁目11-1

TEL 0827-5912183

FAX 0827-577110